

双葉通信【第 268 回】（人生は旅人№34）“ふくしまに恋をして 福島人に”

2026 年 1 月 5 日 上田 勉

来る年 2026 年、新年明けましておめでとうございます。今年こそ、世界・日本そして私達にとって良い年でありますように！

新年にあたって、今年こそ“寛容”と“共生”の年に

今世界では、右翼的な潮流が、排外主義や差別と分断をもたらしています。私は、トランプ大統領や参政党等の「〇〇ファースト」を信用しません。それは、自分達さえよければ他人はどうなっても良いという考えだからです。

高市内閣は、「強い日本・強い経済」を主張しています。しかし、強くなるのは軍事力だけです。日本は、人口減少・地方衰頹に向かっています。守るべき中身（民力）が衰退しているのです。①財政赤字です。1,300 兆円を超える財政赤字は、もしも市場が反応すれば、国債の暴落（長期金利の上昇）・株の暴落・ドル高円安というトリプル安によって、日本経済は大きな影響を受けます。②災害です。災害大国日本では、地震・津波・台風・水害・土砂災害・豪雪・山林火災・火山の噴火などが、どの地域でも起こる可能性があります。原発事故という自然災害も起こる可能性があります。③公共交通機関の衰頹です。JR の赤字ローカル線や私鉄の廃線、公共交通機関（路線バス等）が廃止されて、“交通難民”が生まれています。高齢者や高校生の地域の足を守ることが、困難になっています。④商店街の衰退です。多くの商店街で、シャッターが下りています。近くで買い物ができない“買い物難民”が生まれています。

東日本大震災と原発事故からこの 3 月で丸 15 年になります。しかし、避難していた人の多くは戻って来ません。そして、原発事故による復興は、まだスタートしたばかりです。

新年にあたって、私の小さな決意

私は、この 1 月 26 日で満 77 歳になります。毎年体力の低下を感じます。左足は変形性膝関節症ですが、びっこを引きながら、1 日 1 万歩以上歩くこともあります。体力は落ちていますが、気力と好奇心だけはまだあります。年金だけでは生活ができないので、アルバイトを探していますが、なかなか採用されません。

福島県楡葉町へ復興支援に来て、今年の 3 月でまる 10 年になります。私は物覚えが悪いです（特に男の人の名前）、どこに行っても、結構周りの人達が声をかけてくれます。

原発事故による病院避難によって、多くの重篤患者が亡くなりました。私は医療従事者の方達に聞き取りをして、原発事故による病院避難の困難さについて、伝承することがライフワークになりました。現在、33 人の医従事者の方達から、聞き取り調査をしています。40 人になったら、小冊子にまとめるつもりです。また、東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）でも、月 1 回、病院避難について、語り部をしています。



【初詣—龍田神社（檜葉町）】（2026年1月5日撮影）



【初詣—北田天満宮（檜葉町）】（2026年1月5日撮影）

※4月の中旬は、福島県は桜が満開です。是非、福島の被災地へ来てください。
お待ちしております

住所：〒979-0603

福島県双葉郡檜葉町大字井出字上ノ原 80-2 サン・コーポラスならば 2-306

上田 勉 携帯：090-5300-4664 メールアドレス p-mia08@outlook.jp

※パソコンのメールアドレスを教えてください